

農業 × SDGs

施設園芸の未来

農産物の安定供給及び施設園芸の持続的発展のため、業界の垣根を越え知見を集めるべくシンポジウムを開催いたします。先端的な取組や昨今のエネルギー価格高騰の困難に立ち向かうためのアイデアを紹介いたします。

シンポジウム

2月28日 火曜日
13:00～17:00

オンライン開催

SDGs対応型施設園芸事例普及事業シンポジウム

URL: <https://vimeo.com/event/2830802/22f82dcb9e>



『SDGs対応型施設園芸事例普及事業シンポジウム』の様子をライブ配信します。参加はどなたでも見ていただくことができ無料です。以下のQRコードからURLを読み取っていただければ、携帯電話やパソコンにて視聴できます。

スケジュール

■開催日：2023年2月28日

- 13:00 開会のごあいさつ
戦略農業振興支援ネットワーク合同会社 谷川昌司
- 13:10 SDGs対応型施設園芸普及の意義
農林水産省園芸作物課
- 13:40 次世代の施設園芸の兆し
国立大学法人高知大学 副学長
兼 次世代地域創造センター長
兼 IoP共創センター副センター長 石塚悟史
- 14:10 再生可能エネルギー熱利用に関わる技術開発
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
(NEDO) 新エネルギー部 熱利用グループ 大竹正巳
- 14:40 SDGsと施設園芸
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
(農研機構) 農村工学研究部門 資源利用研究領域
地域資源利用・管理グループ
グループ長補佐 石井雅久
- 15:10 休憩
- 15:20 農業の現場で利用される地中熱ヒートポンプ
地中熱利用促進協会 笹田政克
- 15:50 討論
オーガニックnico、よしよし畑、AMU経営研究所
- 16:20 閉会のことば
一般社団法人日本施設園芸協会
常務理事 事務局長 藤村博志

<内容>

- みどりの食料システム戦略の「2050年までに化石燃料を使用しない施設への完全移行」というKPI達成に向け、化石燃料の使用量削減と生産性向上を両立した「SDGs対応型施設園芸」への転換に向けて積極的に省エネルギー化を推し進める産地・施設の取り組みについてご紹介いたします。
- 施設園芸分野において、オランダの最先端技術を取り入れた「次世代型施設園芸システム」を最新の施設園芸関連機器、IoT・AI技術を利用した営農支援を可能にする「Next次世代型」施設園芸を農業関係者に普及させ農家の所得向上を目指す高知大学石塚副学長の講演をはじめとして、各分野において力を発揮されている講演者に登壇いただきます。

※スケジュールの各タイトルは当リーフレット作成時の仮題であり、当日は変更する可能性があります。